



神戸天然物化学株式会社

**2023年3月期  
決算補足説明資料**

証券コード：6568

2023年05月12日



## 2023年3月期実績

- ✓ 好調な受注・販売を背景に軒並み過去最高更新



## 2024年3月期見通し

- ✓ 売上高は過去最高を連続更新も、損益面では原材料・資材価格高騰を織り込む

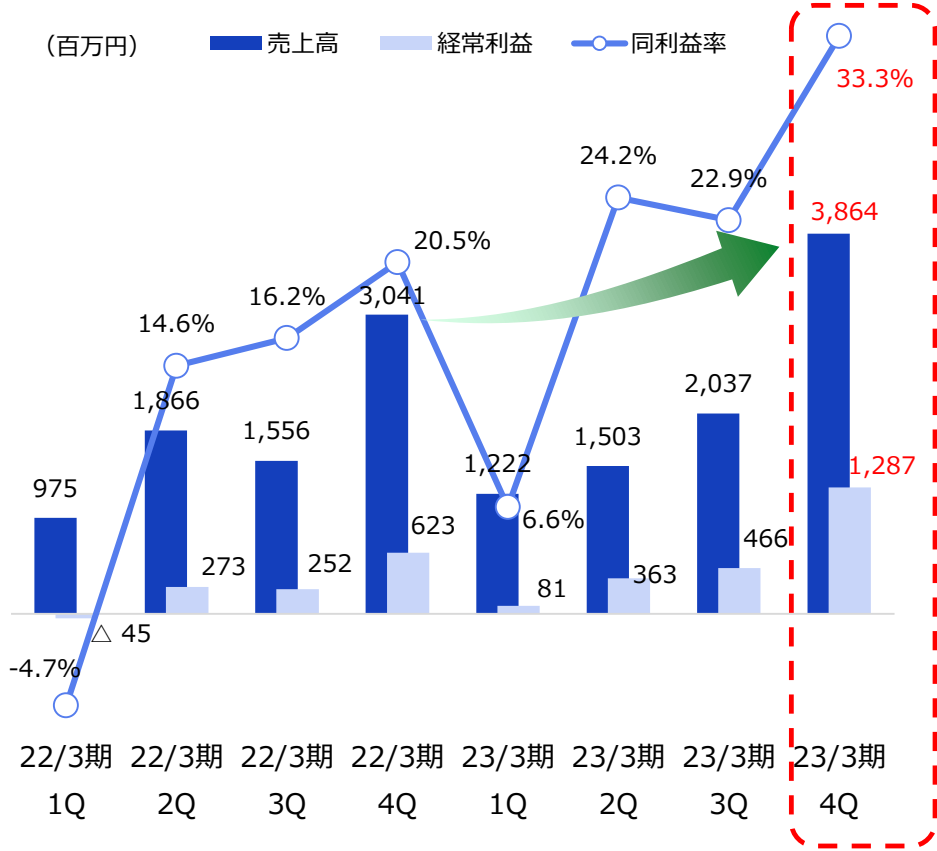




# エグゼクティブサマリー②

- 4Q累計および4Q単独、いずれも対前年比で増収増益
- 製品構成改善や量産品好調で、経常利益率は33%に上昇。EBITDAマージンも高水準を継続
- 需要分野別には、医薬が押し並べて好調。バイオも開発ステージが急伸

## 四半期推移



## ステージ別需要分野別業況マトリックス

	機材	医薬	バイオ
量産	製品構成改善進捗 一部製品で在庫調整発生	4Q出荷好調	堅調に推移
開発	需要好調	低分子、中分子の需要好調	需要好調
研究		需要好調	



# 1. 2023年3月期決算概要



# 1-1. 2023年3月期 経営成績

- 売上は2期連続で2桁の増収ピッチで過去最高を更新。機材はエレクトロニクス関連材料の在庫調整で減収となるも、医薬関連材料の好調が補う。医薬・バイオは開発品目が好調。
- 損益的にも増収効果を牽引役に大幅増益。注目するEBITDAマージンは35%超に到達

## 経営成績の推移

(百万円)	2021/3期	2022/3期	2023/3期				前年比較	
			従来見通し 2022/5/13	従来見通し 2023/2/10	修正見通し 2023/4/21	実績	差異	変化率
売上高	6,029	7,440	7,500	8,300	8,628	8,628	+1,187	+16.0%
機能材料分野	2,150	2,858	2,450	2,700	-	2,832	△26	△0.9%
医薬分野	2,937	3,286	3,580	4,100	-	4,259	+972	+29.6%
バイオ分野	940	1,295	1,470	1,500	-	1,536	+241	+18.7%
営業利益	635	1,094	1,100	1,870	2,163	2,163	+1,069	+97.7%
経常利益	677	1,102	1,110	1,900	2,199	2,199	+1,096	+99.4%
経常利益率	11.2%	14.8%	14.8%	22.9%	25.5%	25.5%	+10.7pp	-
当期純利益	399	643	770	1,330	1,524	1,542	+899	+2.4倍
EBITDA*	1,575	2,023	2,036	2,790	3,082	3,082	+1,059	+52.3%
EBITDAマージン	26.1%	27.2%	27.2%	33.6%	35.7%	35.7%	+8.5pp	-

\* EBITDA = 営業利益 + 減価償却費で算出



## 1-2. 四半期別経営成績

- 2023/3期4Qは医薬分野で大型量産ステージの売上計上が集中。全社業績を牽引し、売上は前年比27%増、経常利益も倍増
- 4QのみのEBITDAマージンは出荷集中という季節要因あるも、40%弱にまで上昇

### 四半期別経営成績の推移

(百万円)	2021/3期				2022/3期				2023/3期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	1,064	1,525	1,325	2,113	975	1,866	1,556	3,041	1,222	1,503	2,037	<b>3,864</b>
機能材料	494	638	586	432	468	717	718	954	712	603	832	<b>682</b>
医薬	476	631	566	1,262	228	804	588	1,665	284	553	886	<b>2,533</b>
バイオ	93	255	173	418	278	344	250	421	224	346	317	<b>647</b>
営業利益	△8	204	99	339	△46	269	250	621	79	342	459	<b>1,282</b>
経常利益	12	215	94	354	△45	273	252	623	81	363	466	<b>1,287</b>
経常利益率	1.2%	14.1%	7.1%	16.8%	△4.7%	14.6%	16.2%	20.5%	6.6%	24.2%	22.9%	<b>33.3%</b>
当期純利益	3	164	△5	237	△104	189	168	389	51	256	320	<b>914</b>
EBITDA*	237	428	319	590	168	488	493	872	293	562	695	<b>1,532</b>
EBITDA マージン	22.3%	28.1%	24.1%	27.9%	17.3%	26.2%	31.7%	28.7%	24.0%	37.4%	34.1%	<b>39.7%</b>

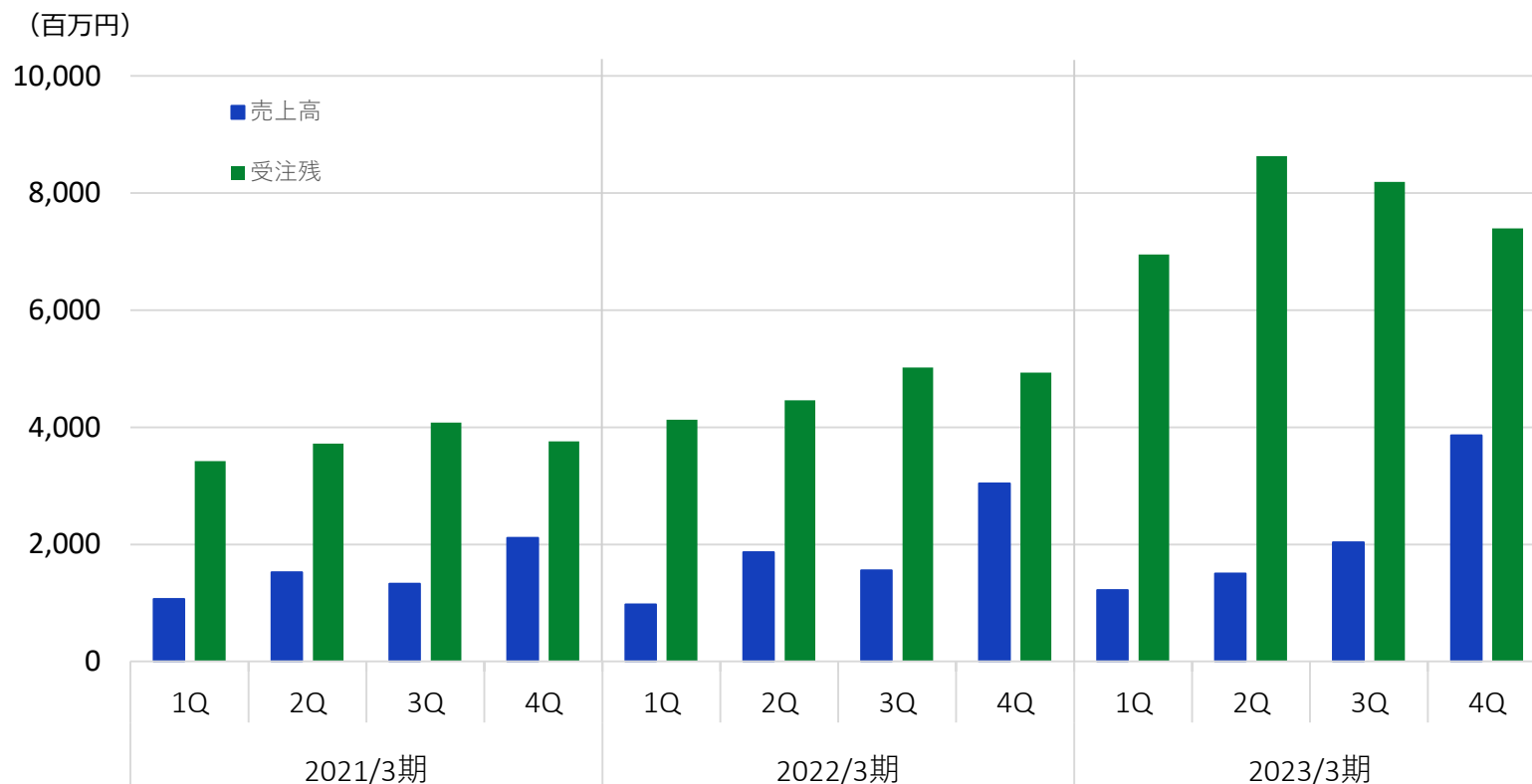
\* EBITDA=営業利益+減価償却費で算出



# 1-3. 2023年3月期 受注残と売上推移

- 2023/3期より、受注残（≒受注）は大きくその水準を引上げ。長年のステージアップアプローチによる顧客からの信頼獲得と生産能力の増強により、案件毎のビジネス規模は1段階レベルが上昇
- 旺盛な需要の取込みが進捗し、2023/3期は過去最高の売上ながら受注残はそれ以上に積上げ
- 特に2023/3期には医薬分野の受注が増加。下期に出荷集中型でもあり、期中の受注残が急増

売上および受注残の推移



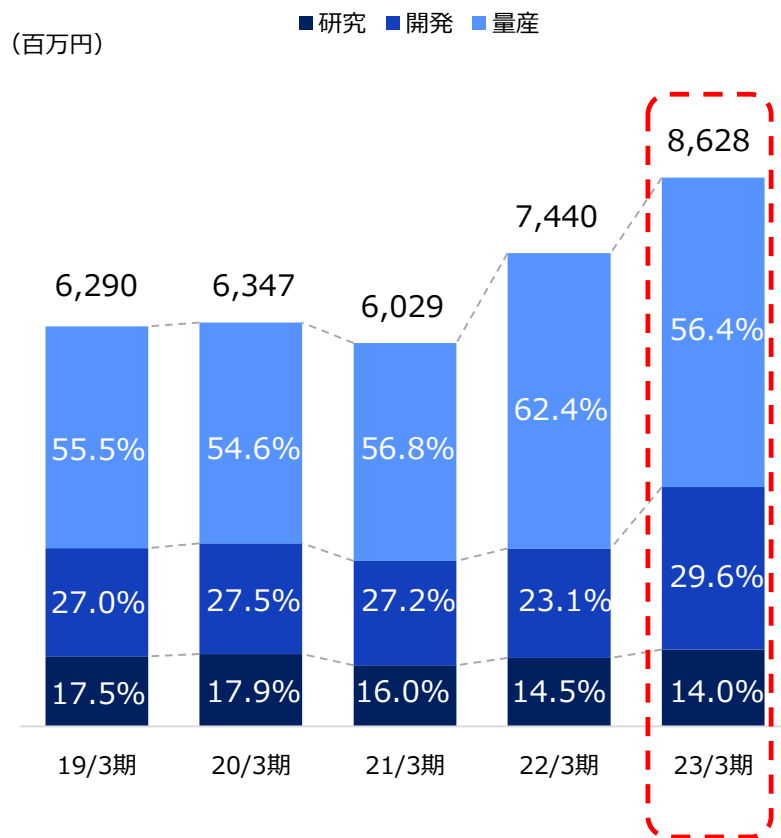
※顧客から提示されたフォーキャスト等は含まず



# 1-4. ステージ別売上状況

- 量産ステージは堅調。医薬関連が好調ながら、エレクトロニクス・バイオ関連では軟調な推移。前期比4.7%増収
- 開発ステージは躍進。医薬・バイオ関連が好調に推移。前期比49%増収
- 研究ステージは好調。医薬・バイオ関連が好調。特に医薬のFTEの需要が拡大。前期比12%増収

## ステージ別売上比率



- 機能材料分野
  - ✓ 量産ステージ エレクトロニクス関連材料は在庫調整により軟調  
医薬関連材料が想定以上に好調
- 医薬分野
  - ✓ 量産ステージ 好調に推移
  - ✓ 開発ステージ 低分子で新規大型案件を獲得・販売し好調  
中分子も新規案件を獲得・販売し好調
  - ✓ 研究ステージ FTE\*の需要は好調続く  
\*FTE : Full Time Equivalent。契約期間内での研究員専属対応
- バイオ分野
  - ✓ 量産ステージ 前年と比較すると弱含み
  - ✓ 開発、研究ステージ 引合いが好調で売上伸長

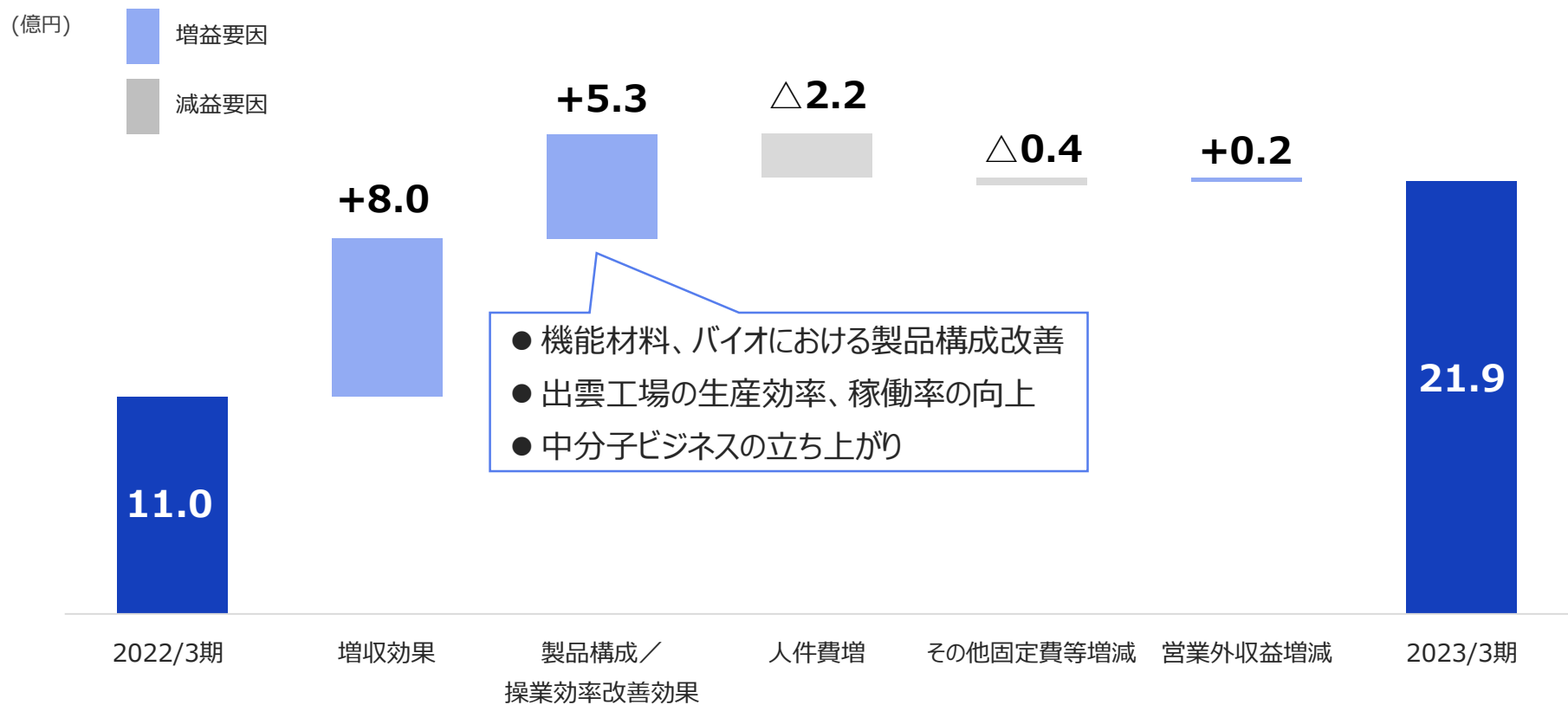




# 1-5. 経常利益 増減要因分析

- 大幅増益の主因は医薬・バイオによる増収効果、機材における製品構成改善、医薬の生産効率、稼働率の向上。概して売上の好調が全社業績を牽引
- 人件費やその他固定費などのコストも事業拡大に伴い増加も、増収効果で吸収。経常利益はおよそ2倍に伸長

### 2022/3期 対 2023/3期 経常利益増減要因分析





# 1-6. 2023年3月期 財政状態

- 2022/3期、2023/3期と総資産は比較的急ピッチで拡大。供給能力増大と受注規模のスケールアップ進行（+それに伴う売上増）により、在庫や売上債権が大幅に増加
- 一方、業績好調で純資産も順調に積上げ。期末の自己資本比率は76.2%と財務基盤は盤石

## 財政状態の推移

(百万円)	2021/3期	2022/3期	2023/3期	前期末差異	
流動資産	5,137	6,347	<b>7,459</b>	<b>+1,111</b>	
現預金	1,962	1,973	<b>2,297</b>	<b>+323</b>	
売上債権	1,141	2,519	<b>2,792</b>	<b>+272</b>	期末売上により一時的に急増
棚卸資産	1,742	1,771	<b>2,279</b>	<b>+507</b>	医薬量産案件の在庫増
固定資産	7,643	7,604	<b>7,945</b>	<b>+341</b>	設備投資額：11.3億円 減価償却費：9.1億円
総資産	12,780	13,951	<b>15,404</b>	<b>+1,452</b>	
負債	2,660	3,376	<b>3,659</b>	<b>+282</b>	
有利子負債	1,443	1,676	<b>1,536</b>	$\Delta$ <b>139</b>	有利子負債は順調に圧縮
未払金/未払税	431	827	<b>1,059</b>	<b>+231</b>	未払費用、未払税などの支払い進捗
純資産	10,120	10,575	<b>11,745</b>	<b>+1,170</b>	
負債純資産合計	12,780	13,951	<b>15,404</b>	<b>+1,452</b>	自己資本比率76.2%

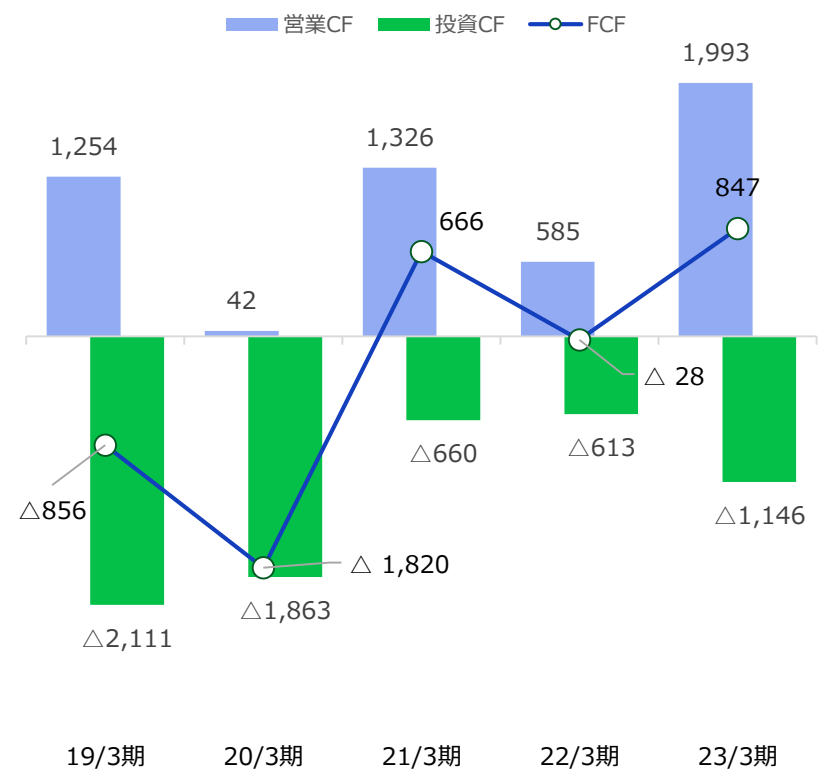


# 1-7. 2023年3月期 キャッシュフローの状況

- 2023/3期は業績好調に加えて売上債権の回収も順調に進み、営業CFが大きく増加
- 投資CFは品質管理棟と立体自動倉庫の取得により若干膨らむが、FCFは大幅黒字を計上
- 期末の現預金残高は23億円。これらは今後の投資拡大原資に充当の予定

## キャッシュフロー推移

(百万円)	2021/3期	2022/3期	2023/3期	前年差異
営業CF	1,326	585	<b>1,993</b>	+1,408
投資CF	△660	△613	<b>△1,146</b>	△533
固定資産取得	△905	△833	<b>△1,169</b>	△335
FCF*	666	△28	<b>847</b>	+875
財務CF	△180	39	<b>△523</b>	△562
借入金増減等	15	233	<b>△139</b>	△373
配当金の支払額	△193	△193	<b>△271</b>	△77
現金残高	1,962	1,973	<b>2,297</b>	+323



\* FCF=営業CF+投資CF で算出



## 2. 2024年3月期通期見通し



## 2-1. 2024年3月期 業績見通し

- 売上は3.8%増と3期連続増収を見込むも、その成長ピッチは現時点で一旦減速と想定。下期偏重の傾向も2024/3期は緩和を予想
- 医薬・バイオは好調維持ながら伸びは緩やか。機能材料では在庫調整の継続を前提に置く
- 損益面では、原材料価格高騰によるマージン縮小を想定。ただし、現時点でそれらの価格転嫁は織り込んではいない。投資拡大による償却増なども重石となり、経常利益は5期ぶりの減少を見込む

### 2024年3月期見通し

(百万円)	2021/3期	2022/3期	2023/3期	2024/3期 見通し	前年比較	
					差異	変化率
売上高	6,029	7,440	8,628	<b>8,960</b>	+331	+3.8%
機能材料分野	2,150	2,858	2,832	<b>2,510</b>	△322	△11.4%
医薬分野	2,937	3,286	4,259	<b>4,850</b>	+590	+13.9%
バイオ分野	940	1,295	1,536	<b>1,600</b>	+63	+4.1%
営業利益	635	1,094	2,163	<b>1,700</b>	△463	△21.4%
経常利益	677	1,102	2,199	<b>1,700</b>	△499	△22.7%
経常利益率	11.2%	14.8%	25.5%	<b>19.0%</b>	△6.5pp	—
当期純利益	399	643	1,542	<b>1,180</b>	△362	△23.5%
EBITDA*	1,575	2,023	3,082	<b>2,657</b>	△425	△13.8%
EBITDAマージン*	26.1%	27.2%	35.7%	<b>29.7%</b>	△6.0pp	—

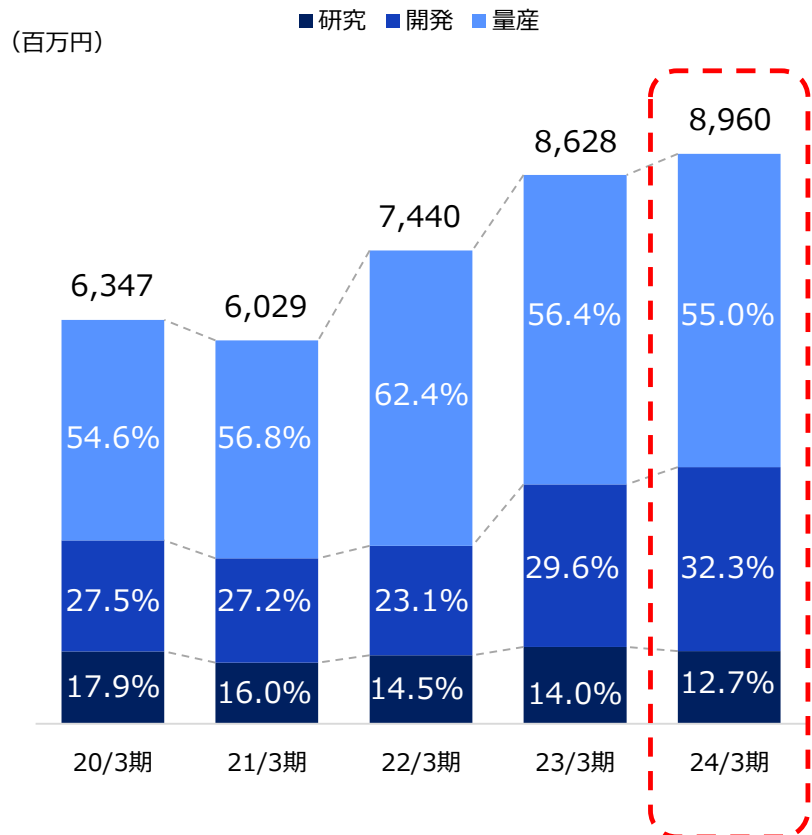
\* EBITDA=営業利益+減価償却費で算出



## 2-2. ステージ別売上見込み

- 開発ステージの割合は一段の上昇を想定。医薬分野を中心に開発案件の獲得を想定
- 量産ステージでは堅調継続の見通し。
- 量産ステージのウエイトは若干低下の見通しながら、開発ステージ拡大で次のビジネスに繋がる仕掛けは順調と認識

### ステージ別売上比率



- 機能材料分野
  - ✓ 量産ステージ エレクトロニクス関連材料の在庫調整は継続  
医薬関連材料は現時点で保守的に
- 医薬分野
  - ✓ 量産ステージ 原薬を中心に好調を継続
  - ✓ 開発ステージ 23/3期に続き大型案件を獲得・販売  
23/3期に続き中分子案件も好調をキープ
- バイオ分野
  - ✓ 量産ステージ 需要増による増収を想定
  - ✓ 開発ステージ 23/3期に続き好調を維持し増収を想定

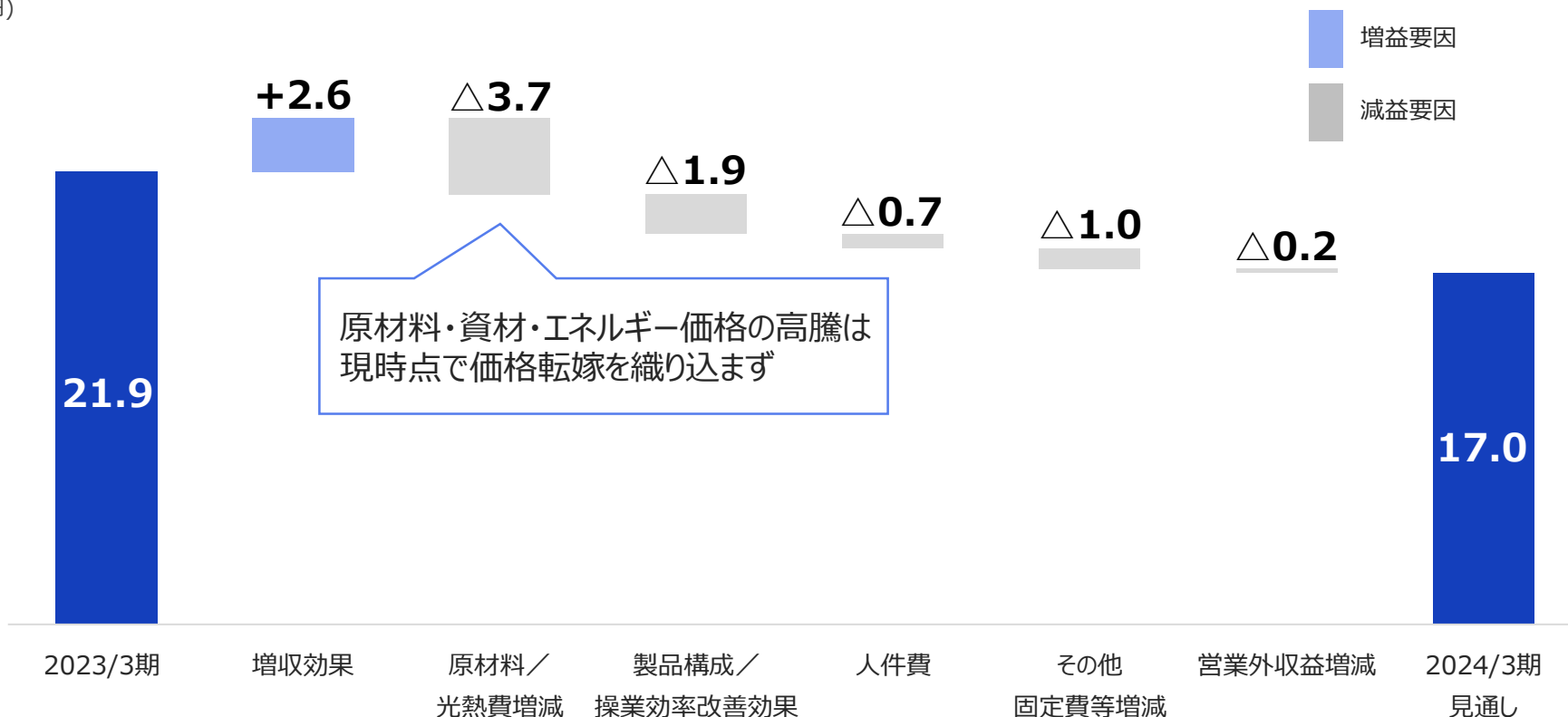


## 2-3. 2024年3月期 経常利益 想定増減要因分析

- 大幅経常減益となる最大の要因は原材料やエネルギーコストの上昇。2023/3期と比べやや利益率の低い製品の出荷集中による製品構成悪化も収益圧迫要因。人件費、償却費も負担増を想定
- ただし、各事業領域で分業化の流れは加速しており、生産能力の増加が受注増に直結する構図は鮮明に。2024/3期も増収効果は継続の見通し。コスト増分の価格転嫁は今後の課題

### 2024年3月期 経常利益増減要因分析

(億円)



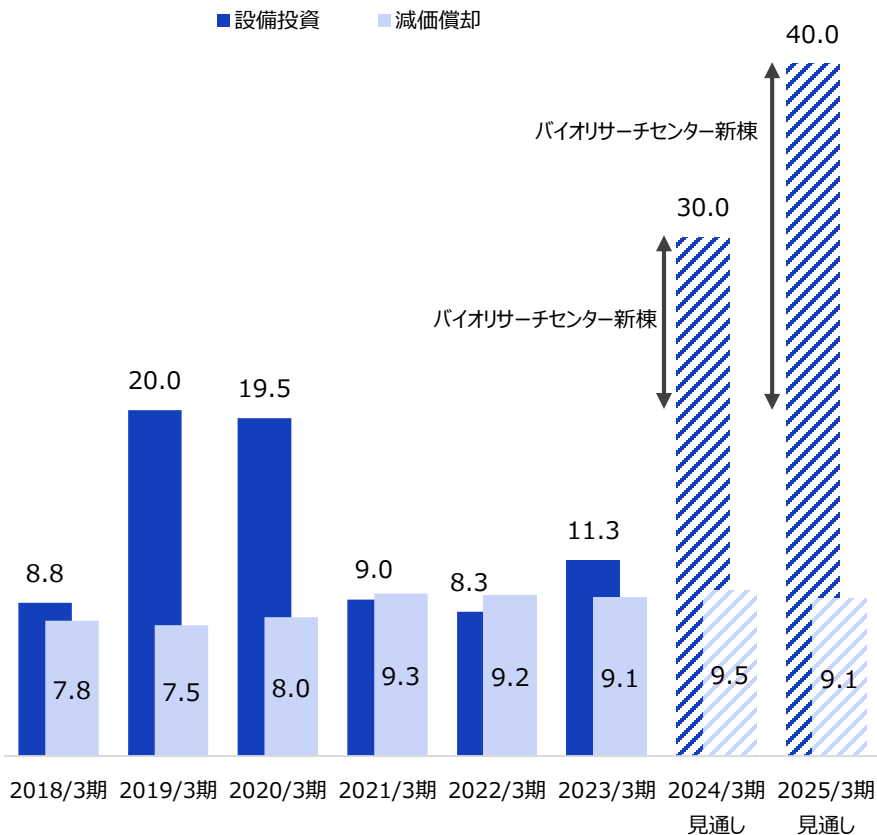


## 2-4. 設備投資動向

- 2024/3期の設備投資額は前期比2.8倍の30億円を計画。翌2025/3期は40億円を想定。需要の引き合いは強く、この機を逃すことのないよう積極的に生産余力確保に注力
- 2024/3期は生産能力拡大を目的にさらに投資を加速。減価償却費は2026/3期から増加するものの、バイオ関連では顧客による建設費用の提供を受けるため、実質的な負担増の対象は一部新規設備のみ

### 設備投資(CFベース)と減価償却費の推移

(億円)



#### <2023/3期の主な設備投資実績>

- ✓ 出雲第二工場 品質管理棟 (機材)
- ✓ 出雲第一工場 立体自動倉庫 (医薬)

#### <2024-25/3期の主な設備投資計画>

- ✓ 出雲第二工場 新規製造設備 (機材)
  - 建設費20億円規模
  - 高い不純物管理を要求されるエレクトロニクス材料にも対応
- ✓ バイオリサーチセンター 新棟建設 (バイオ)
  - 建設費30億円規模
  - 原薬製造専用の設備として生産能力拡大
  - 当社所有の特定顧客専用工場として顧客から建設費用の提供を受ける予定。減価償却負担は実質的に発生しない見通し





## 2-5. 配当予想

- 配当方針を踏まえ、2023/3期は前期比3円増配となる年28円配を計画。2024/3期はさらに2円増配となる年30円配を計画。2024/3期は減益見通しながら、配当の安定性を重視
- なお、安定配当の目安としては当面DOE2%程度を想定。

### 配当方針

企業価値拡大に向けた投資余力を総合的に勘案し、業績状況に則した安定配当を継続実施

(円)	2020/3期	2021/3期	2022/3期	2023/3期		2024/3期	
				実績	前期差異	計画	前期差異
1株当たり当期純利益	67.02	51.54	82.78	200.06	117.28	<b>153.05</b>	△47.01
1株当たり配当金	25.00	25.00	25.00	28.0	+3.0	<b>30.0</b>	<b>+2.00</b>
DOE* <sup>1</sup>	2.0%	1.9%	1.9%	2.0%	+0.1pp	<b>2.0%</b>	±0.0pp
配当性向	37.3%	48.5%	30.2%	14.0%	△16.2pp	<b>19.6%</b>	+5.6pp
総還元性向	37.3%	48.5%	30.2%	21.2%* <sup>2</sup>	△9.0pp	<b>19.6%</b>	△1.6pp

\*<sup>1</sup> DOE (自己資本配当率) = 年間配当総額 / 自己資本

\*<sup>2</sup> 2022/5/16 : 自社株買い実施



## 3. トピックス

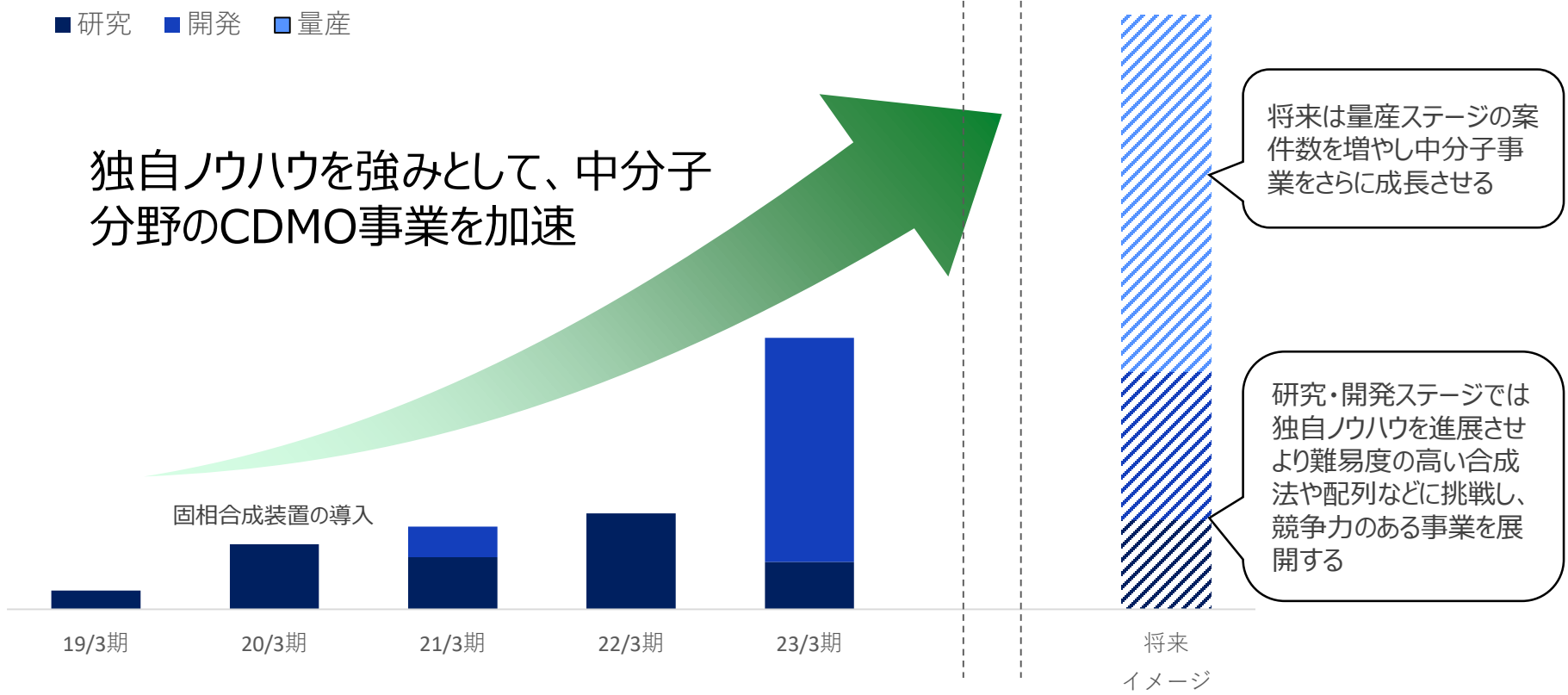


# 3-1. 中分子医薬案件

- 今後、高い市場成長が見込まれる中分子分野でCDMO事業を展開
- 当社の得意分野である有機合成を軸に独自ノウハウを盛り込んだ製法を確立し、研究案件を中心に実績を積み、顧客の信頼を獲得してきた
- 開発案件で実績を積上げ、量産案件を獲得し中分子ビジネスを成長させる

■ 研究 ■ 開発 ■ 量産

独自ノウハウを強みとして、中分子分野のCDMO事業を加速





### 出雲第二工場品質管理棟

- ✓ 多様化する製品（医療関連材料、半導体関連材料、ディスプレイ関連材料など）に対する、顧客からの多様化かつ高度化する品質管理への要望に応えられるよう、品質管理と品質保証の人員と機器を品質管理棟に集約
- ✓ スーパークリーンルーム内に金属分析装置(ICP-MS)を設置することでppb\*オーダーの金属不純物分析の安定化を図り、高度な金属不純物管理を要求される半導体関連材料の更なるビジネス獲得を目指す。

\*ppb : Parts-Per-Billion (10<sup>-9</sup>)



### 立体自動倉庫 (W-11)

- ✓ GMP管理体制で医薬品原薬を製造する出雲第一工場では生產品目の急増により、製品等の倉庫が圧迫され、今後の懸念材料であったが解消
- ✓ 医薬品製造業に特化した生産管理システムを導入し、生産性を改善

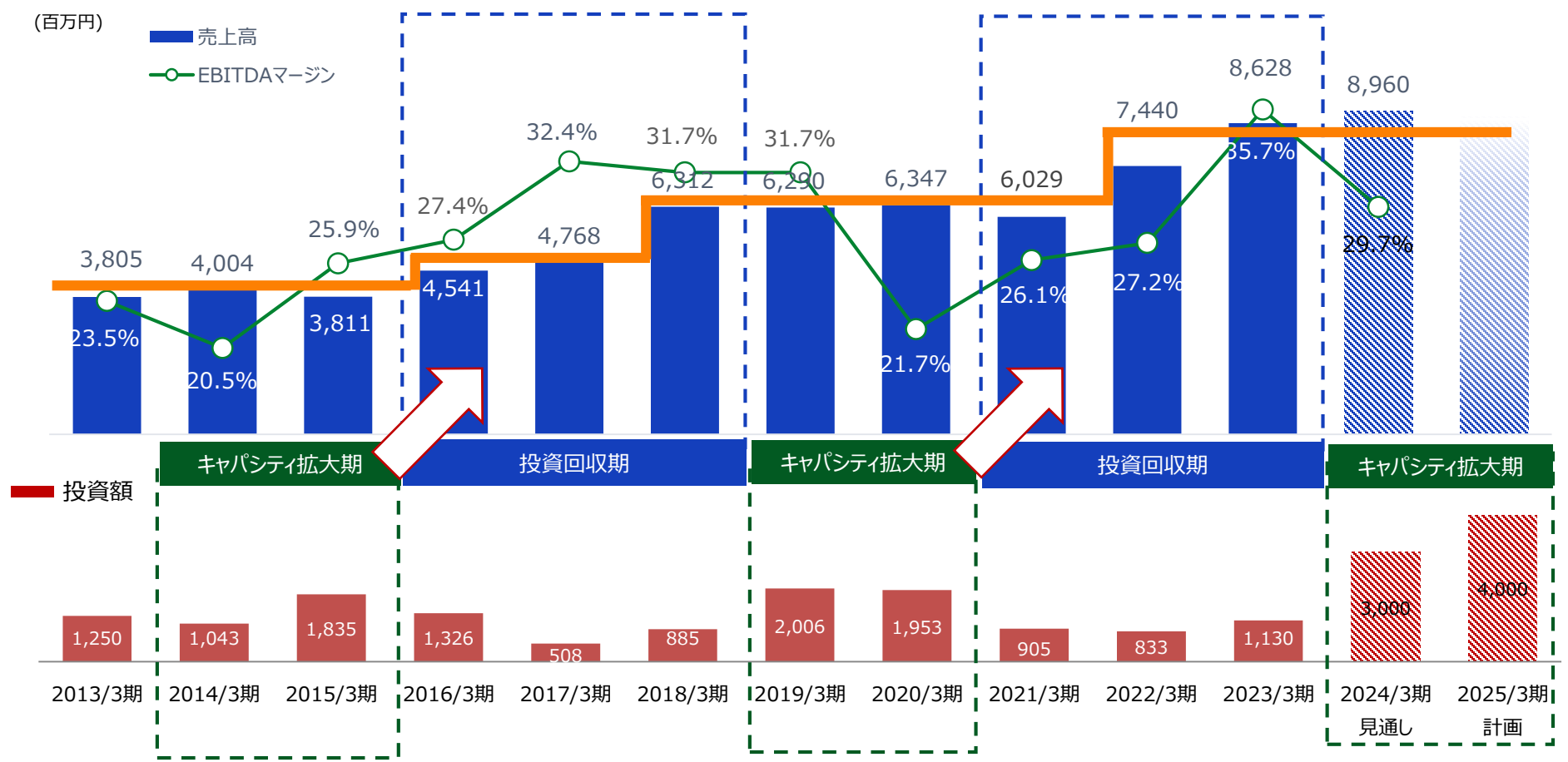




# 3-3. 当社のビジネスサイクル

- 当社のビジネスサイクルでは、生産能力規模の拡充と投資回収が交互に発生する傾向が鮮明。成長へのキードライバーは設備投資であり、投資資金の早期回収を実現できる投資タイミングの見極めがカギ
- 直近は生産能力拡大を進めるも、早くも増産余地は窮屈な状況。拡大する需要の取込みに向け、大幅な能力拡充への着手を計画

## 長期業績トレンド



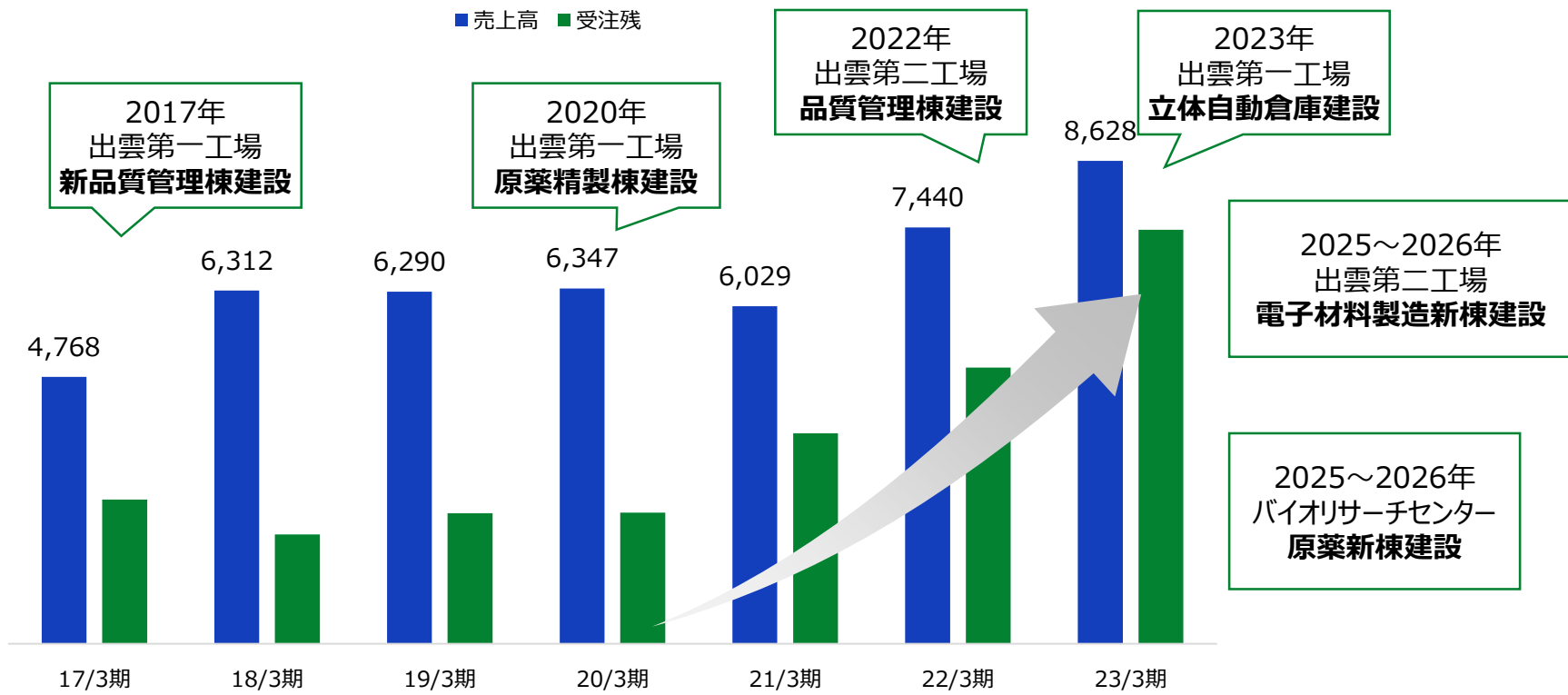


# 3-4. 受注残と売上推移

- 実際、案件毎のビジネス規模は1段階レベルが上昇するにしたいが、受注規模も急拡大。現在は生産能力が律速段階となり、引上げが急務
- 2024/3期、2025/3期の設備投資規模はかなり大規模ながら、需要取り込みへの機会損失を回避し、顧客とのより強固な関係構築に向けて「攻めの姿勢」で臨む方針

受注残の推移

(百万円)





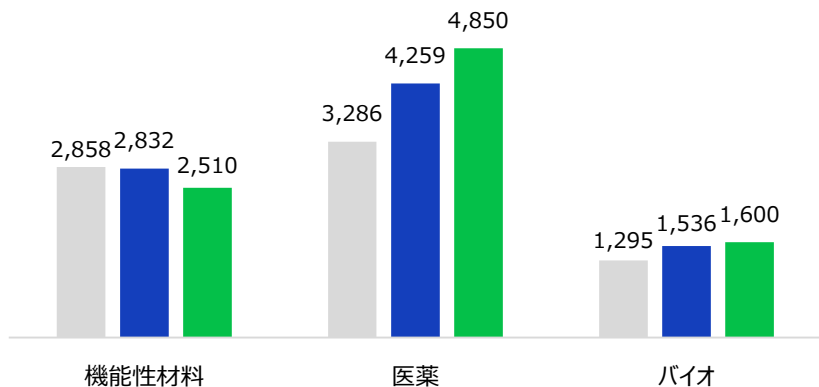
## 4. Appendix



# ステージ別需要分野別売上まとめ

### 需要分野別売上高

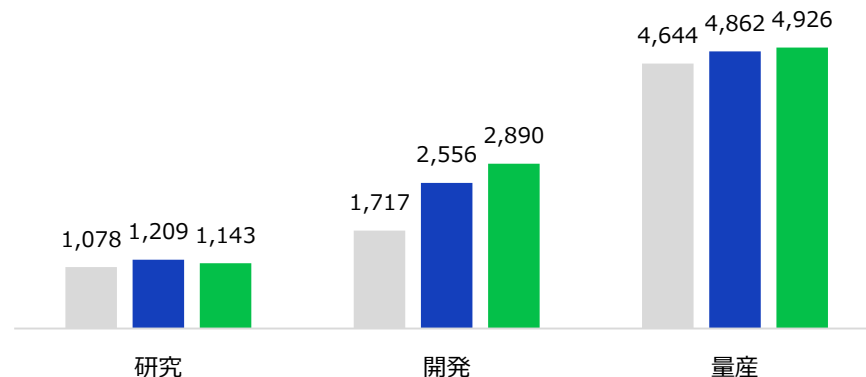
(百万円) ■ 22/3期 ■ 23/3期 ■ 24/3期見通し



(百万円)

### ステージ別売上高

(百万円) ■ 22/3期 ■ 23/3期 ■ 24/3期見通し



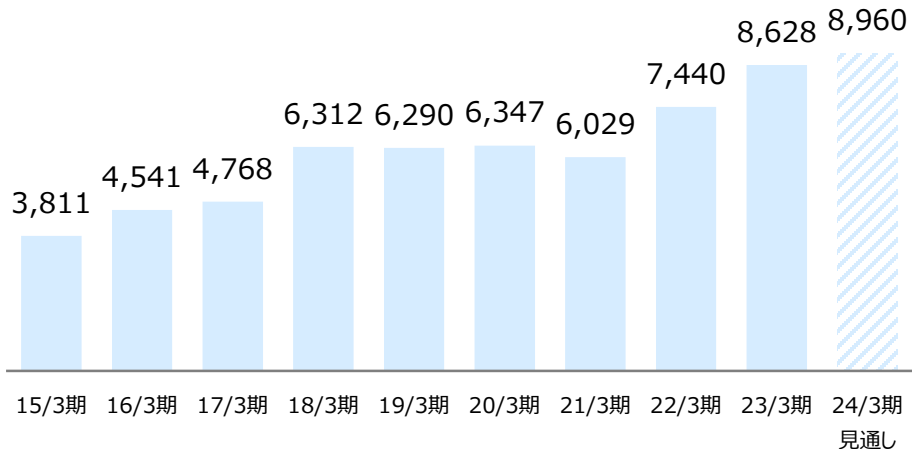
	2023/3期			2024/3期見通し		
	研究	開発	量産	研究	開発	量産
	+131	+839	+218	△66	+334	+64
機材	△26 エレクトロニクス材料で在庫調整発生			△322 在庫調整のエレクトロニクス材料は回復途上 医薬関連を保守的に見込む		
医薬	+972 原薬製造は好調 中分子医薬の案件獲得			+590 原薬製造は好調 中分子医薬は一服		
バイオ	+241 研究・開発のスポット案件好調			+63 量産ステージ案件が好調		





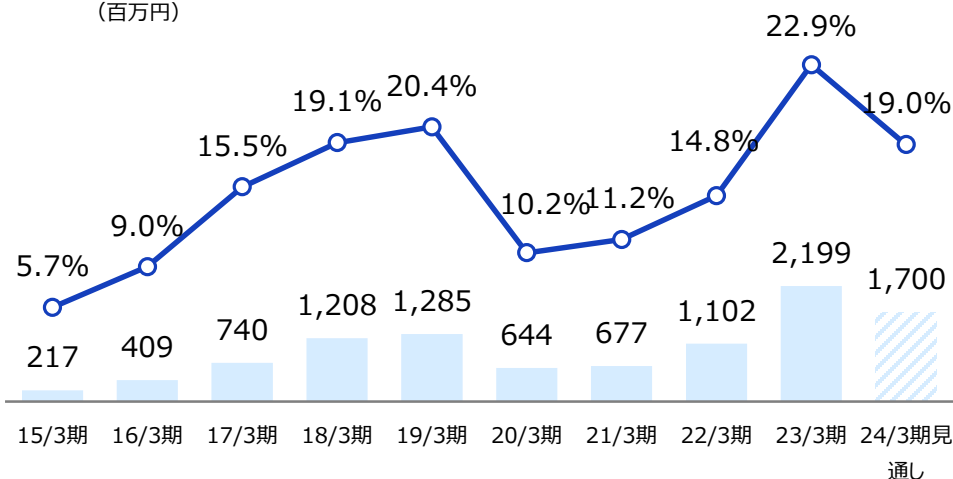
## 売上高

(百万円)



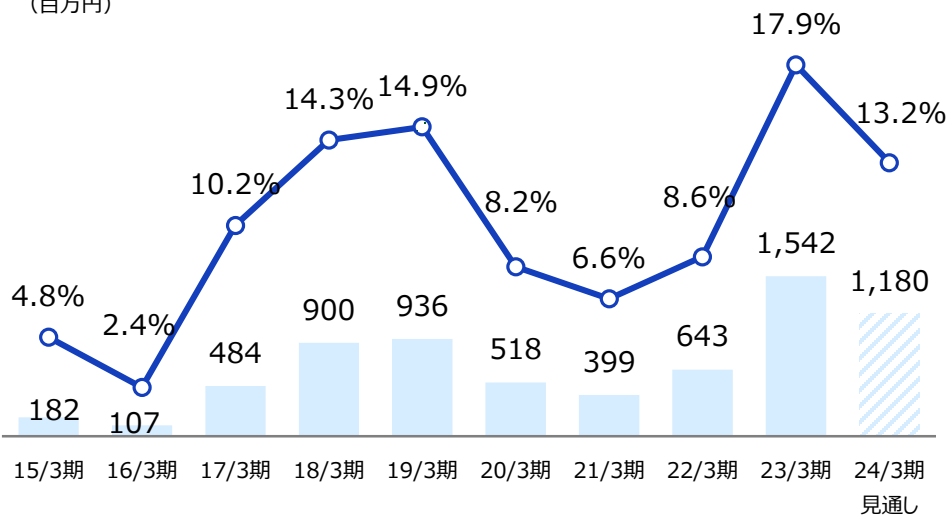
## 経常利益・経常利益率

(百万円)



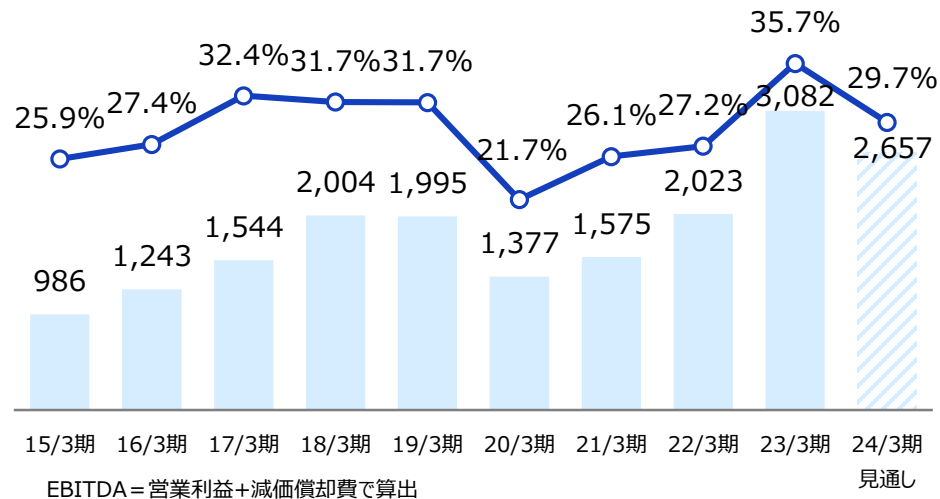
## 当期純利益・当期純利益率

(百万円)



## EBITDA・EBITDAマージン

(百万円)



項目 (単体)	2018/3期	2019/3期	2020/3期	2021/3期	2022/3期	2023/3期
売上高 (百万円)	6,312	6,290	6,347	6,029	7,440	<b>8,628</b>
経常利益 (百万円)	1,208	1,285	644	677	1,102	<b>2,199</b>
当期純利益 (百万円)	900	936	518	399	643	<b>1,542</b>
EBITDA* (百万円)	2,004	1,995	1,377	1,575	2,023	<b>3,082</b>
売上高経常利益率	19.1%	20.4%	10.2%	11.2%	14.8%	<b>25.5%</b>
売上高当期純利益率	14.3%	14.9%	8.2%	6.6%	8.6%	<b>17.9%</b>
EBITDAマージン*	31.7%	31.7%	21.7%	26.1%	27.2%	<b>35.7%</b>
現金及び預金 (百万円)	5,413	3,072	1,476	1,962	1,973	<b>2,297</b>
有利子負債 (百万円)	2,256	978	1,428	1,443	1,676	<b>1,536</b>
純資産額 (百万円)	8,736	9,454	9,827	10,120	10,575	<b>11,745</b>
総資産額 (百万円)	12,688	12,002	12,770	12,780	13,951	<b>15,404</b>
自己資本比率	68.9%	78.8%	77.0%	79.2%	75.8%	<b>76.2%</b>
配当性向	21.4%	20.6%	37.3%	48.5%	30.2%	<b>14.0%</b>
役員・従業員数	254人	270人	285人	293人	299人	<b>300人</b>

\* EBITDA = 営業利益 + 減価償却費で算出



- 1985年 ● 神戸市西区に神戸天然物化学株式会社設立
- 1988年 ● 岩岡工場開設（兵庫県神戸市）
- 1993年 ● 市川研究所開設（兵庫県神崎郡）
- 2001年 ● 出雲第一工場開設（島根県出雲市）
- 2002年 ● 神戸研究所開設（兵庫県神戸市）
- 2003年 ● 神戸工場開設（兵庫県神戸市）
- 2005年 ● KNCバイオリサーチセンター開設（兵庫県神戸市）
- 2007年 ● つくば大学内にKNC-筑波ラボラトリー開設（2012年閉鎖）
- 2009年 ● 出雲第二工場開設（島根県出雲市）
- 2013年 ● 出雲第一工場内に医薬品原薬精製・粉碎設備棟を建設
- 2014年 ● KNCバイオリサーチセンター内に培養新棟を建設
- 2015年 ● 出雲第一工場内にペプチド・核酸原薬工場棟を建設
- 2017年 ● 出雲第一工場内に新品質管理棟を建設
- 2018年 ● 東証マザーズ上場
- 2019年 ● 本社・神戸研究所開設・移転
- 2020年 ● 出雲第一工場内に原薬精製棟を建設
- 2022年 ● 東証グロース市場に移行
- 出雲第二工場品質管理棟を建設
- 2023年 ● 出雲第一工場立体自動倉庫（W-11）を建設



## < 見通しに関する注意事項 >

---

当資料に記載されている内容は、いくつかの前提に基づいたものであり、将来の計画数値や施策の実現を確約したり保証したりするものではありません。

問い合わせ先 経営企画部 IR担当 078-955-9900 (代表) [knc-ir@kncweb.co.jp](mailto:knc-ir@kncweb.co.jp)